

5/15 住民の生命を守る!
救急教育セミナー開催

第45回熊本県救急教育セミナーは、菊池市文化会館で開催され、医療機関や消防職員など約200人が参加しました。このセミナーは、交通事故や災害などの事例を基にグループ討議などを行いながら、より理想的な救命活動の実施を目的に毎年3回開催されています。今回は市内で発生した交通事故による救急事案を基にグループ討議を実施。午後からは全体討議や講演などがあり、参加者は活発な意見を交わしながら救急活動について学習しました。



グループ討議では活発な意見が交わされていました

5/15 第3セクター連絡協議会が
小学校へ図書カードを寄贈

市内の道の駅や温泉施設などの6施設で構成する菊池市第3セクター連絡協議会(杉田貞治会長)から、市内の10小学校へ図書カードが贈られました。これは第3セクター施設が集めたレシート総額の0.1%を還元する「本を贈ろう運動」によるもので、平成22年から実施し今年で4回目。菊池市福祉会館で開かれた校長会の会合で、校長会を代表して泗水小学校の宮川淳一校長に130枚の図書カードが贈られました。



宮川校長に図書カードを手渡す杉田会長

5/10 元気に育て
菊池川などに鮎の放流

菊池川漁業協同組合(とみたせいこう 富田正剛組合長)による鮎の放流が行われました。

この鮎の放流は、菊池川、迫間川、合志川の本・支流における魚種保護のための増殖事業として、菊池川漁業協同組合により毎年行われているものです。今回は、鮎935.5^{kg}(147,352尾)を放流しました。鮎は、河口から上流へと遡上し、餌場の確保のため一定の縄張りをつくり成魚へと成長していきます。



鮎を放流する組合員の皆さん

5/5 菊池南中女子ソフトボール部が
城北大会で優勝

城北地区中学生女子ソフトボール大会が高森町民グラウンドであり、菊池南中女子ソフトボール部が優勝を飾りました。大会は城北地区4チームの総当たり戦により実施。準決勝では2回の延長戦を制し、勢いのまま決勝戦を制し優勝を勝ち取りました。キャプテンの藤崎いずみさんは「厳しい試合でしたが、最後まであきらめず元気いっぱいのプレーで勝つことができました。先生、コーチ、保護者に感謝し県ナンバー1を目指します」と喜びを語りました。



優勝した菊池南中女子ソフトボール部の皆さん

5/17 助け合いの心を忘れない
災害復興支援物資出発式

東日本大震災災害復興支援物資の出発式が市内のスーパーでありました。被災地へ継続的な支援を行うと堀江清次郎さん(野間口)が実施したものです。市内の事業所などが提供したサクラの木、米、しいたけなどを、堀江さんが運転するトラックに乗せて出発しました。式では第二さくら幼稚園園児による踊りや大津太鼓のパフォーマンスなどで堀江さんを激励。堀江さんは「助け合いの精神を大事にして、継続的な支援を行っていききたい」と述べました。



1. 堀江さんの前で作文を読む菊池小5年の野中優希さん
2. 園児の踊り 3. 菊池南中吹奏楽部の演奏 4. 大津太鼓の演奏

5/16 KCG30の皆さんが
店頭防犯キャンペーン活動

菊池高校の女子生徒10人と菊池女子高生徒10人が市内のスーパーで防犯キャンペーンを実施しました。生徒たちは市内の女子高生30人で構成する「KCG30」のメンバーで、結成3年目。菊池市防犯協会の呼び掛けに応じて防犯啓発ボランティア活動などを行っています。生徒たちは店頭で、買い物客に「防犯キャンペーン中です。よろしくお願ひします」と元気に声をかけながら、自転車や車の鍵かけなどを呼びかけました。



買い物客に防犯啓発ピラやグッズを配るKCG30の皆さん

5/15 七城リバーサイドパークの
屋外プールがリニューアル

七城リバーサイドパークの屋外プールがリニューアルされ、2体の巨大な「くまモン」が姿を現しました。同プールは1996年に完成し、施設の老朽化に伴い駐車場の整備などを併せて2月に大幅改装。子どもたちに喜んでもらおうと大小2体の「くまモン」を描きました。プール内には幼児用、子ども用、25^m、ウォーターライダーなどを完備。7月13日から15日までプレオープンされ、20日から通常営業されます。



リニューアルされ「くまモン」が描かれた屋外プール

5/12 熊本県視覚障がい者福祉
協会が「歩こう会」開催

熊本県視覚障がい者福祉協会主催の「歩こう会」が菊池市民広場で開催され、会員や家族、ボランティアなど約200人が参加しました。これは、会員の交流と親睦を深めるとともに、障がい者の社会参加を目指して開催されているものです。

参加者は晴天の下、菊池市民広場を中心に市街地など約3.5^{km}を散策。最後は点字歌詞などを言いながら全員で童謡を合唱するなど、交流を楽しみました。



手を取り合って散策する参加者の皆さん

5/25 達人と語る
第8回菊池まちづくり道場

隈府の松倉邸で開催され、市民など関係者約20人が参加しました。これは、市民の知恵や経験などを基に菊池の文化資源を生かしてまちづくりにつなげようと、九州大学大学院芸術工学研究院藤原恵洋研究室が実施しているものです。今回は、全国技能五輪で優勝経験のある左官技師・丹波秀朗さんを語り手に招き、藤原教授と対談。丹波さんは「自分のできるまちづくりは、先人から受け継いだ技術を後進に残していくこと」と思いを語りました。



語り手の丹波さん④と聞き手の藤原教授⑤

5/24 エプロンおばちゃん
県優良読書グループ表彰

絵本の読み聞かせボランティアグループ「エプロンおばちゃん」の皆さんが、平成24年度熊本県優良読書グループ表彰を受賞しました。「エプロンおばちゃん」は平成12年に結成。県内の保育園、小学校や福祉施設など、幅広い世代の人々を対象に絵本の読み聞かせや紙芝居などの活動を続けています。受賞の報告のため江頭市長を表敬訪問した3人は、「受賞をみんなで喜んでいきます。今後も3人元気で楽しく続けていきたい」と抱負を語りました。



受賞したエプロンおばちゃんの3人と江頭市長。左から代表の宮本栄子さん、本田保美さん、江頭市長、山野千代美さん

5/24 旭志小学校が
文部科学大臣表彰を受賞

旭志小学校（吉田栄二校長）が、平成25年度子どもの読書活動優秀実践校として文部科学大臣表彰を受賞しました。この表彰は、子どもたちが読書の意欲を高めるための優れた取り組みを実践している団体などを表彰するものです。同小は、読み聞かせや読書週間の実施など学校と保護者と地域が一体となり活動に取り組んでいる成果が評価されました。司書の藤川幸さんは「今後も子どもたちが積極的に本を読む環境を維持していきたい」と話しました。



受賞の報告のため江頭市長⑤を表敬訪問した吉田校長⑥と司書の藤川さん⑦

5/18 測友会の皆さんが
清掃ボランティア

市内に事業所を置く測量関係の会社で組織する測友会（中原君孝会長）の会員14人が、清掃ボランティアを実施しました。測友会による清掃ボランティアは、地域に貢献しようと平成20年に始まり6年目。今年は七城小学校グラウンド周辺の清掃を実施しました。当日は晴天にも恵まれ予定より早く作業を完了。測友会の皆さんは「菊池市の役に立てるよう今後も頑張ってください」と話しました。



草刈作業する測友会の皆さん

5/31 鞠智城歴史公園
設置促進期成会総会

菊池市国営鞠智城歴史公園設置促進期成会総会が市役所で開催されました。総会では、県の小田信也文化課長と坂井秀一景観公園室長が「講座やシンポジウムなどさまざまな機会を通じて鞠智城の認知度や知名度の向上を図ってきた。これからは歴史的意義や学術的価値が広く全国に認知されていくことを強く期待したい」と報告。関係団体が連携しながら、引き続き鞠智城の国営公園化を目指し啓発活動を行っていくことを誓いました。



県の取り組みを報告する小田文化課長

5/26 菊池たてもの応援団
講演会 in 菊の城酒造

菊池たてもの応援団主催の講演会が旧菊の城酒造であり、市民など約60人が参加しました。講演は、旧菊の城酒造の次男で設計事務所勤務の有田知令さんが「酒蔵建築のこれから～菊池市に残る酒蔵の再生プロジェクト～」と題し講話。酒造を地域に解放し、見学、体験、宿泊施設に活用するなど研究内容を発表しました。有田さんは、「菊池たてもの応援団のような組織があることはうれしい。自分の研究内容が少しでも地域に生かせたら」と語りました。



菊の城酒造再生計画についての研究内容を講演する有田さん

5/19 20・29 菊池市大健闘!
第64回菊池郡市民体育祭結果

菊池郡市の各会場で開催され、熱戦が繰り広げられました。結果は次のとおりです。

種目名	優勝	2位	3位
陸上競技(総合)	菊池市	合志市	大津町
陸上競技(女子)	合志市	菊池市	菊陽町
軟式野球	菊陽町	大津町	合志市・菊池市
ソフトボール(男子)	合志市	大津町	菊池市・菊陽町
ソフトボール(女子)	菊陽町	菊池市	
ソフトテニス	合志市	大津町	菊陽町
卓球	菊陽町	合志市A	大津町・菊池市・合志市B
バドミントン(男子)	合志市A	菊陽町	大津町・菊池市A
バドミントン(女子)	合志市A	合志市B	大津町・菊陽町
バレーボール(男子)	合志市	菊池市B	菊池市A
バレーボール(女子)	合志市	菊池市	菊陽町
バスケットボール(男子)	大津町	菊陽町	菊池市A・菊池市B
バスケットボール(女子)	大津町	菊池市	
柔道	合志市	菊池市	
剣道	菊池市B	菊池市A	合志市A
銃剣道	合志市	菊池市	
ゲートボール(男子)	合志市A	合志市B	菊陽町・大津町
ゲートボール(女子)	菊池市A	合志市B	合志市A・大津町
ポウリング	合志市A	合志市B	菊陽町
グラウンドゴルフ(男子)	合志市B	大津町	菊池市A
グラウンドゴルフ(女子)	大津町	合志市B	菊陽町
弓道	菊陽町	菊池市A	大津町
サッカー	合志市A	菊陽町	合志市B・大津町



菊池市総合体育館で開催されたバレーボール⑧と剣道⑨

6/2 食とステージとホテルを堪能 2013きくちホテルフェスタ in 旭志

今年旭志村ふれあいセンターに場所を移し開催しました。陸上自衛隊第8音楽隊によるオープニング演奏の後、開会式では旭志ホテルフェスタ実行委員会の藤野富雄会長と江頭市長があいさつ。引き続き岩本円通寺太鼓、旭志小学校4年生による合奏、メリーホッパーズのダンスやフラダンスなどが披露され、会場を盛り上げました。終盤には来場者お待ちかねの抽選会があり、ホテルセレナーデの総踊りでしめやかにフェスタを締めくくりました。



1. 旭志小4年生の合奏 2. メリーホッパーズのダンス 3. 陸上自衛隊第8音楽隊の演奏 4. 岩本円通寺太鼓 5. 優雅なフラダンス 6. 多くの来場者でにぎわうイベント会場

6/5 菊池市管工事組合 ボランティア活動

菊池市管工事組合（本藤徹組合長）の15業者が水道施設の清掃活動などのボランティア活動を行いました。同組合は毎年水道週間（6月1日～7日）に合わせてボランティア活動を実施しており、今年は花房地区の配水池清掃や市役所庁舎前に散水栓を設置しました。

本藤組合長は、「水は私たちにとって生命の源です。水道業務をとおして市民の皆さんに安全安心な水道水の提供に貢献したい」と話しました。



花房地区の配水池を清掃する組合員の皆さん

6/2 菊池市消防団 泗水方面隊消防操法大会

泗水グラウンドで開催され、23チームが出場しました。この大会は、市民の生命、身体、財産を火災から守るため、安全確実かつ迅速に行動できるよう訓練することを目的に毎年行われています。選手たちは日頃の訓練の成果を発揮し、機敏な操法を披露しました。大会結果は次のとおりです。

優勝 13分団4部2班 富の原
準優勝 13分団4部1班 村吉
第3位 13分団2部2班 福本一・田吹



機敏な動作で操法を披露する選手

6/1 災害から市民を守る！ 災害警戒本部訓練

市役所で職員の災害対応能力の向上を図るための防災訓練がありました。訓練には消防署、消防団、職員など95人が参加。大規模な豪雨災害を想定し、情報収集、警報の伝達、水防活動や住民避難などの図上訓練を実施。訓練会場は本番さながらの緊迫感に包まれ、参加者たちは終始真剣な表情で取り組んでいました。訓練後の会議では「情報が入り乱れて混乱した」「避難所開設などで人員不足に陥る可能性がある」など、課題について意見を交わしました。



地図を見ながら入ってきた情報をまとめる職員

5/31 赤星惟徳さんが 旭日単光章を受章

赤星惟徳さん（立門）が旭日単光章を受章し、市役所で伝達式がありました。今回の叙勲は、3期12年にわたり旧菊池市議会議員として市政の発展と福祉の向上に貢献した地方自治功労が認められたことによるものです。

赤星さんは、竜門ダム湖を囲む斑蛇口湖公園や、多くの市民が利用する菊池市民広場の整備などに大きな功績を残しました。

受章おめでとうございます。



受章した赤星さん

6/2 七城コールコスモス 40周年記念音楽会

コーラス団体の七城コールコスモス（工藤友子代表）40周年記念音楽会が、七城公民館講堂で開催され、訪れた約200人の観客が合唱や歌劇を楽しみました。団体は昭和47年に結成。市内の福祉施設や音楽イベントなどで歌謡曲や童謡、歌劇などを披露しています。音楽会では、同団体による合唱のほか市内の福祉施設の入所者の皆さんも合唱や手話を披露。最後は会場全員で「上を向いて歩こう」を合唱し童謡「ふるさと」でフィナーレを飾りました。



熟練のハーモニーを披露する七城コールコスモスの皆さん

6/1 菊之池小学校剣道部が 少年剣道錬成大会で優勝

第38回熊本県剣道道場連盟少年剣道錬成大会が益城町総合体育館で開催され、菊之池小剣道部（北村総一郎監督）が優勝の栄冠を勝ち取りました。大会では、県内各地の少年剣士が熊本県の剣道道場の頂点を目指し熱戦を繰り広げました。優勝したメンバーは次のとおりです。（敬称略）

先鋒 梅田悠太郎（4年）
中堅 松永康佑（3年）
大将 北村壮志（4年）



優勝した菊之池小剣道部。前列左から北村くん、梅田くん、松永くん

菊池遺産を募集します

菊池の豊かな自然や
 伝統ある文化を
 未来へ受け継いでいく
 「菊池遺産」を募集します。
 もう一度
 あなたの身近にある
 地域の宝物を
 探してみませんか。

募集要項

推薦対象
 市内にある有形、無形の伝統ある文化や豊かな自然など地域で誇るべき宝で、建造物・史跡・名所・芸能・自然・風景・食文化などあらゆるものが対象です。また次のいずれの要件も満たすことが条件です。

- ・菊池を特徴付け、将来に残す価値あるもの
- ・地域住民などにより保護されているものであって、認定以後も保護されるとともに地域の振興に活用されるもの

推薦者 行政区や各種団体など
 ※個人や宗教団体または政治的な目的を持つ団体を除く。

推薦書類
 次の書類を提出してください。なお、複数の場合はそれぞれ作成し、提出してください。

- ・推薦書
- ・位置図
- ・写真その他参考資料
- ・所有者などの各種同意書

推薦書および同意書については、応募先に設置しています。また、ホームページからもダウンロードできます。

アドレス http://www.city.kikuchi.kumamoto.jp/machidukuri/_2997/_2773.html

募集締切日 8月30日(金)

応募先 企画振興課または各総合支所総務民生課
問い合わせ先 企画振興課地域振興係 ☎0968(25)7250

鼻突地蔵
 認定番号：第ふるさとH21-9号
 久米集落の西の外れの三差路にあり、自然石の中央をくり抜いて、仏像を彫った中世の石板がはめ込んである。目を閉じて、遠くから歩いて像の鼻の部分に指先が当たると、良縁に恵まれるとの伝承からこのように呼ばれている。

6/6 菊池たばこ販売協同組合 清掃ボランティア

菊池たばこ販売協同組合(本田秀昭理事長)の会員12人が、市役所前から温泉街など市街地のごみ拾いをしました。これは、菊池をきれいにして地域に貢献したいとの思いから毎年続けているもので、七城、旭志、泗水地域でも行っています。

会員は、道端に捨てられたたばこの吸殻やごみ屑などを拾いながら、「以前と比べるとごみは減ってきましたが、ペットボトルとたばこの吸殻はまだ多いです」と話していました。



歩道のごみを拾う会員の皆さん

6/8 菊池ひまわりの会 10周年記念式典

菊池ひまわりの会(崎村弥生理事長)10周年記念式典が同会作業所で開催され、関係者など約60人が参加しました。この会は、障がいのある人が自立を目指し、心豊かな生活を営むことができるように必要な訓練や支援を行うNPO法人です。式典では、利用者の皆さんがハンドベル演奏やコカリナ独奏などを披露。崎村理事長は、「障がいのある人がその人らしく、心豊かな生活を送ることができる地域の施設として歩んでいきたい」と語りました。



オープニングで民族楽器「ジェンベ」の演奏を披露する利用者の皆さん

6/5 赤ちゃんかわいいね 乳児ふれあい学習

菊池北中学校(田中真治校長)で思春期教室(乳児ふれあい学習)が行われました。学習には2年生69人と生後2~8カ月の赤ちゃん親子12組が参加。生徒たちは、赤ちゃんの衣服の着替えや体重測定などを体験しました。初めて赤ちゃんを抱っこした鳥井大揮くんは「思ったより重かったけど、暖かくてかわかった」と笑顔を見せました。生徒たちは赤ちゃんの親から出産や育児についての話を聞き、育児の喜び、苦労、親になる責任などを学びました。



赤ちゃんの親から指導を受けながら赤ちゃんの着替えを体験する生徒たち

6/6~9 第11回全日本ジュニアボート選手権大会

第11回全日本ジュニアボート選手権大会は、斑蛇口湖ボート上で開催され、全国から集まった18歳以下で高校生までの男女156人の選手が熱戦を繰り広げました。種目は男女共に一人で漕ぐ2,000㍓のシングルスカル。予選から決勝まで3日間にわたり開催されました。

本市からは、菊池高校の河津俊亮さんが出場。全国から集まった代表選手たちにも負けない力強いストロークで健闘しました。



力強いストロークを見せる菊池高校の河津さん(手前)